

1 部門目標

安全な麻酔管理を提供できるよう努めること
 他部門や手室のスタッフとコミュニケーションをとって、
 円滑な手術室運営を心がけること

2 業務体制・スタッフ

令和 5 年度は、佐藤由美、吉田亜紀子、村松隆宏、熊切由美子、小金澤実由、
 蓑輪百合子の 6 名に加えて、
 外勤スタッフとして、篠原先生、神山先生（千葉大学）に、
 引き続き協力していただきました。

3 業務実績

麻酔管理症例数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全身麻酔	1154	963	1061	1069
吸入麻酔	500	429	391	267
完全静脈麻酔	501	390	293	222
硬膜外併用 吸入麻酔	72	54	187	257
硬膜外併用 完全静脈麻酔	81	90	190	323
局所麻酔	241	257	311	313
脊髄硬膜外麻酔	228	242	283	280
硬膜外麻酔	0	5	8	8
脊髄くも膜下麻酔	13	10	18	23
その他	0	0	0	2
総計	1395	1220	1372	1382

4 1年間の総括

令和4年度は、熊切由美子先生、小金澤実由先生が入職してくださいましたが、さらに篠原彩子先生が令和6年の4月から、常勤スタッフとして、お勤めしてくださいることになりました。

海浜幕張での新病院にむけて、強力なスタッフを得て、心強く、感謝しております。海浜幕張での新病院の事業規模から、考えて、手術室内での麻酔業務だけではなく、術前のリスク評価を面談室で行ったり、積極的にICU回診に参加したりと、麻酔科医としてやるべき仕事も増えてくるのかと思います。

また、私個人は、ここ2年ほど、青葉病院での勤務日を設定して、青葉病院での臨床経験や、ワークシェアリングに参加しています。

青葉病院の状況を紹介させていただきますと、麻酔管理症例数は年間2200、内部の常勤スタッフは、診療局長の鈴木弘人先生と麻酔科統括部長の中嶋和佳先生のお二人で、外勤として千葉大学麻酔科医局の若手、麻酔科派遣業者から支援を受けております。

麻酔科業界内で好まれる勤務体系は、週3-4日、日勤の常勤で、残りの勤務日は外勤にでて、外貨をいただくというのが主流ですので、公務員としての勤務体系では、青葉の方で常勤スタッフを獲得するのは困難であると判断して、私自身が異動させていただこうかなと思い至りました。長年にわたって、海浜病院で、様々な場面で助けていただき、本当にありがとうございました。

私個人は、両市立病院で、協力し合うような診療体制に反対する、もしくは不平不満を抱くような心情では全くありません。意欲を持って、そうたいしてうまくはできない反復横跳びを繰り返す毎日、毎週でしたが、ワンチームというのは、勤務表的に日勤者が何名いて、夜間、土日の待機者が誰でということに関して、混乱をまねく可能性があるのかなとは感じました。

(文責 蓑輪百合子 2024年3月29日)

5 今後の目標

安全な麻酔管理を提供できるよう努めること

他部門や手室のスタッフとコミュニケーションをとって、

円滑な手術室運営を心がけること

今後とも、ご指導のほど、よろしく願いいたします。

最後に、運営方針の転換や、常勤スタッフの交代がありましても、その都度、ご助言をいただきまして、ありがとうございます。